

#### 4. 1) (1) 介護リフトの種類と適用

<アセスメントポイント>

- ①リフトやスライディングシートは、いすに座ることのできない要介護者の移動・移乗に使用する
- ②いすに座ることができても体格が非常に大きく、スライディングボード上に要介護者の臀部が納まらない場合は、リフトの使用を検討する
- ③背もたれなしのいすに座ることができ、肘掛着脱式車いすが使用できる場合は、スライディングボードの使用を検討する
- ④尻歩きができ、移乗動作に協力的であれば、スタンディングリフトの使用を検討する
- ⑤機種選定の際は、リフトの耐荷重や床からベッドのサイドフレームまでの高さなどを確認する（リフトのキャスター部分がベッド下のスペースに入るかを確認する）

種類	特徴		
つり上げ式床走行リフト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ つり具を使って電動または手で人を昇降させ、キャスターで床を移動する</li> <li>・ 取付工事などが不要で、簡易に使用できる</li> <li>・ 昇降の際は床面が平らでなければならない</li> <li>・ キャスターの車輪径が小さいためわずかな段差でも転倒しやすく（移動には不適）、揺れが生じやすい（要介護者に不安を与えやすい）</li> <li>・ ベッドで使用するとき、ベース（リフトの足の部分）がベッド下の奥まで入る必要がある</li> <li>・ ベースの開き幅より広いいすやポータブルトイレでの使用はできない</li> </ul>		
台座式床走行リフト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 機器に備え付けられたいすや担架などの台座を使って電動または手で人を昇降させ、キャスターで床を移動する</li> </ul>		
つり上げ式天井走行リフト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ つり具を使って電動または手で人を昇降させ、天井に取り付けた走行用のレールを使って移動する</li> <li>・ 家屋を改修し、レールの取り付け工事をしなければならない。</li> <li>・ 部屋の間仕切りをくぐり抜けて移動できるタイプと、間仕切りの一部を取り除く工事が必要なタイプがある</li> <li>・ 利便性が高いが高価である</li> </ul>		
住宅用設置型リフト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建物の壁や床などに固定し、機器の可動範囲内での移乗をする</li> <li>・ つり具によってつり上げるタイプといすや担架などの台座によって持ち上げるタイプがある</li> </ul>		
据置型リフト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 床に置いて、つり具を使って電動または手で人を昇降させ、機器の可動範囲内での移乗をする</li> <li>・ 浴槽内に置いて使用するものもある</li> </ul>		
機器用設置型リフト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 浴槽やベッドなどの機器に固定して、電動または手で人を昇降させ、機器の可動範囲内での移乗をする</li> <li>・ つり具によってつり上げるタイプといすや担架などの台座によって持ち上げるタイプがある</li> </ul>		
簡易リフト (スタンディングリフト)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 要介護者の機能維持を図りながら、前方または後方を機器で支え移乗する</li> <li>・ 移乗介助に加え、排泄動作の補助やズボン・パンツなどの着脱介助に適用できる</li> </ul>		
	手動 (軽量・コンパクト)	前方サポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 膝関節や股関節の伸展ができない場合</li> <li>・ 体幹が保てず、脱力する場合</li> <li>・ 胸部に傷病がない場合（胸部にボタンのついている上着の着用を避ける）</li> </ul>
		後方サポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手引き歩行が可能であるがすぐに姿勢が崩れてしまう場合</li> </ul>
	電動	前方サポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 膝関節や股関節の伸展ができない場合</li> <li>・ 体幹が保てず、脱力する場合</li> <li>・ 胸部に傷病がない場合（胸部にボタンのついている上着の着用を避ける）</li> </ul>
		後方サポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上肢の力を使いながら体幹を保つことができる場合</li> </ul>